

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業[市民の学習成果発表の場提供事業]

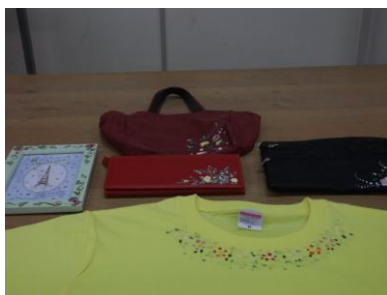
「超かんたん！トールペイント～どなたでもスグ描けます～」を開催しました
平成25年3月7日、市村博子さんを講師にお迎えし、講座を開催しました。

「トールペイント」は、ヨーロッパからアメリカへ移民した人たちによって持ち込まれ、ヨーロッパの伝統的装飾技法を土台にして、木、ブリキ、ガラス、陶器、布などあらゆる素材に絵を描くことを総称して“トールペイント”または“トールペインティング”と日本では呼ばれています。

今回は下塗りなしのフリーハンドで、直接、服・カバン・財布等に描きました。手軽に、簡単に、従来とは全く違う手抜きトールペイント教室です。

まず、先生が用意した黒画用紙（百均ショップで販売）に、パレットにアクリル絵の具を絞り出し、筆で縦・横など練習に線を描いていきました。皆さん初めての方ばかりで、「できるのだろうか？」と心配されていた方がほとんどでしたが、私が少し席をはずしている間に、バラの花を色々なものに描いていました。

バラ・すずらん・葉っぱ・チューリップ・小花など、それぞれ描き方があり、筆の使い方で本当にそれらしく見えるのです。



アクリル絵の具はすぐに洗うととれます。筆に水をつけて、必ず筆拭き用のタオルでよく拭いてアクリル絵の具をつけます。

また、布に描くときは描きにくいので、すべてきちんと描こうと思わなくてよいそうです。ステンシルの技法としては、布にアクリル絵の具をつけてぼかすという技法もあります。

一番簡単な、小花からバラ、そしてすずらんと、次々と進んでいき、皆さん持参された財布・和傘・Tシャツなどに描いていき、本当に可愛くできていました。

楽しそうでしたし、本当に口ぐちにそうおっしゃっていました。

最後に、先生が私の古いペンシルケースに、すずらんの絵をプレゼントしてくれました。

